

EPC C1G2対応、USBバスパワーで動作
UHF帯RFタグリーダー・ライター
URW-P1

全世界で導入が進むUHF帯RFIDシステム。
そのリーダー・ライターを卓上で手軽に。



製品概要

1. USBバスパワーで動作する
卓上型リーダーライター
2. 特定小電力機器なので
・無線局免許申請が不要で気軽に導入可能
・設置場所を選ばず、小売店などでの利用も可能
3. EPC C1G1、EPC C1G2、
ISO 18000-6B、ISO 18000-6C の
標準規格に対応
4. RFタグ発行・確認ソフト
「ICタグライター」付属
5. 外部スイッチ、LED搭載で
PC画面を見なくても操作可能
6. 直線偏波モデルと円偏波モデルの
2タイプをご用意

活用例



工場内の
工程管理に



個人認証や
物品の管理に



RFタグ検品
評価、開発に

開発支援キット 「URW-P1 DK」

「URW-P1 DK」は、機能検証とソフトウェア開発のためのRFID開発支援キットです。

「URW-P1」本体のほかに、開発用ライブラリ(API)、コマンド仕様書、サンプルソースコードなどが同梱されていますので、特定用途向けにアプリケーションソフトを開発していただくことができます。

USBケーブル接続ですぐに使えるから、導入が簡単!



USB接続

データ通信と電源供給
(バスパワー)



3つの動作モード

- 1) 書き込み・読み取りテスト
- 2) 書き込み・読み取りテスト(任意データのインポート)
- 3) ID取得テスト

4つのタイミングによるリード・ライト

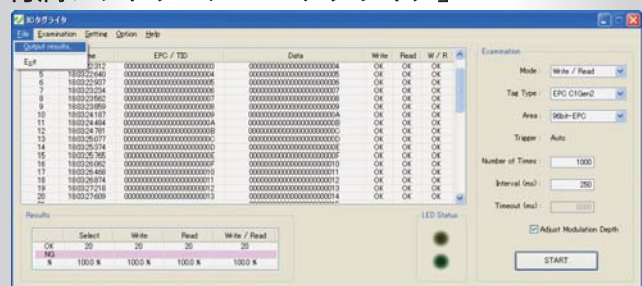
- 1) 自動
- 2) 手動 (PCのキーボード入力をトリガーに)
- 3) シリアル (PCのシリアルポートへの入力をトリガーに)
- 4) スイッチ (URW-P1のスイッチをトリガーに)

各コマンドに対応

KILL、ACCESS、LOCK

出力・変調度・周波数等の設定変更可能

付属ソフトウェア「ICタグライタ」



製品仕様

周波数	952~954MHz
対応RFタグ通信規格	EPC C1G1、EPC C1G2、ISO 18000-6B、ISO 18000-6C
上位インターフェース /データ転送速度	USB2.0 Full Speed (12Mbps)
接続コネクタ	USB TypeB
PC環境	Windows® XP SP2
電源	USBバスパワー (5V)
外形寸法 (WxDxH)	140mm x 110mm x 38mm
重量	350g以下
RF出力	10mW
消費電流	最大時:400mA以下
消費電力	2W
最大通信距離	~30cm (タグや環境による)
環境条件	動作温度:0°C~+40°C / 保存温度:-10°C~+70°C
付属品	USBケーブル、CD-ROM、サンプルRFタグ、 取扱説明書、保証書
付属ソフトウェア	RFタグ発行・確認ソフト「ICタグライタ」

動作確認済みRFタグリスト

※1 EPC Memory Size

プロトコル	メーカー名	製品名	メモリ(bits)
EPC C1G1	Alien Technology	Quark Omega	64
		Lepton	96
	ST Microelectronics	XRA00	64
ISO 18000-6B	NXP Semiconductors	UCode EPC1.19	256
		UCode HSL	2k
	Fujitsu	MB97R8010	8k
		MB97R8020	2k
EPC C1G2/ ISO 18000-6C	impinj	Monza	256
	NXP Semiconductors	UCode EPC G2	512
		ST Microelectronics	XRAG2
	UPM Raflatac	Rafsec G2 ShortDipole、 Rafsec DogBone、 Rafsec Frog DualDipole	96※1
		Alien Technology	Higgs、2006 1800064、 2005 1800047
	Texas Instruments	Gen 2 EPC	128
	HITACHI	μ-Chip Hibiki (HE-MU384-T001)	528
	Omron	Monza	96※1
	Avery Dennison	AD-220、AD-420、AD-421、 AD-612、AD-622	96※1
	EM	EM	EM4444

本製品ご利用に際しての留意事項

本製品を国内でご利用される場合は、必ず日本国内電波法を遵守してください。本製品を改造して不法電波を放射すると、電波法に抵触し、処罰されることがありますのでご注意ください。また、本製品を海外でご利用になる場合は、現地の電波法などをご確認の上、関係法令、ガイドラインを遵守してください。また、本製品を海外でご利用になる場合は、現地の電波法などをご確

認の上、関係法令、ガイドラインを遵守してください。なお、日本から輸出する場合は「外国為替及び外国貿易管理法」を遵守するものとし、本製品に同法で定める戦略物資、または特定技術に該当するものが含まれている場合、顧客、用途、仕向地の確認を行い、必ず日本国政府の許可を得る必要があります。

医療機器への影響について

本製品は電波を使用したRFID機器の読み取り・書き込み装置です。そのため使用する用途・場所によっては、医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品を運用する際は、総務省、(社)日本自動認識システム協会及び関係団体の定める運用ガイドラインをご確認の上、適切にお取扱ってください。

「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」
総務省(報道資料) :平成20年5月
http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/pdf/080530_9_btl1.pdf

植込み型医療機器の装着者及びハンディタイプRFID機器の操作者の注意点1. ハンディタイプRFID機器の操作者は、ハンディタイプRFID機器のアンテナ部を植込み型医療機器の装着部位より22cm程度以内に近づけないこと。2. 植込み型医療機器の装着者は、装着部位を据置きタイプ(950MHzを除く。)及びモジュールタイプのRFID機器のアンテナ部より22cm程度以内に近づけないこと。3. 植込み型医療機器に対するハンディタイプ、据置きタイプ及びモジュールタイプのRFID機器の影響を軽減するため、更なる安全性の検討を関係団体で行っていくこと。

お問合せ先

RFIDサービス・製品情報ウェブサイト : <http://rfid2.jp/>

製造元

rfid@sobal.co.jp

第2営業グループ

TEL:03-5482-1185 FAX:03-5482-1249



ソーバル株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子3-25-14 ソーバルビル
<http://www.sobal.co.jp/>

このパンフレット内の文章、写真等の著作物の全部または一部を弊社の許可なく複製、使用することを一切禁じます。パンフレットの内容は2008年8月現在のもです。 180808PR068-P1W02